

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
D301	ゼミナールⅡ / EXゼミⅡ	3年	演習	4	渡邊瑛季
授業概要 本科目では、観光やホテルをはじめとする宿泊業に関する調査研究の方法について学習します。そのために、受講生どうしの発表、討論、実習、まちあるきなど演習形式でゼミを進めます。学術的な調査方法、またプレゼンテーションなどの表現技法を学習します。内容は、①、②まちあるきを通じた調査および発表スキルの獲得、③観光ツアーの企画を通じた1年間の習得技能の成果発表から主に構成されます。					
到達目標(学習の成果) <ul style="list-style-type: none"> ・討論やプレゼンテーションなどのコミュニケーションの方法を実践できる。(DP1) ・観光やホテル業に関する課題を理解し、その対応策について考えることができる。(DP3) ・観光やホテル業に関する事業者や関係者などへの調査を自ら実行することができる。(DP4) 					
研究成果の発表方法: 大学祭で発表する。					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	ゼミの概要と方針説明	本ゼミの概要と1年間の方針について説明する。			
2	資料の探索①	ホテル・観光に関わる図書資料の紹介、探索方法、所蔵場所の確認			
3	資料の探索②	図書館での図書資料の探索実践			
4	資料の探索③	ホテル・観光に関わる統計資料の紹介、探索方法、所蔵場所の確認、探索実践			
5	資料の探索④	ホテル・観光に関わる論文資料の紹介、探索方法、所蔵場所の確認、探索実践			
6	プレゼンテーションの方法	スライドの作成方法や注意点、発表の仕方			
7	アンケート調査の方法	アンケート調査の意義、調査票の作成、配布、回収の具体的方法			
8	聞き取り調査の技法①	調査対象者の設定、アポイントの取り方(依頼状、電話、メール、ファックスの方法)			
9	聞き取り調査の技法②	聞き取りノートの取り方			
10	聞き取り調査の技法③	受講生や教員による聞き取りの実践練習、次回に向けた準備			
11	聞き取り調査の技法④	友人への聞き取り結果の発表と反省			
12	調査テーマの設定	インタビュー調査のためのテーマ設定と注意点			
13	調査実践①	インタビュー調査の実行			
14	調査実践②	インタビュー調査の結果の取りまとめとその方法			
15	調査実践③	インタビュー調査の発表			
16	図表の作成法①	観光統計を用いた Excel による単変数グラフの作成			
17	図表の作成法②	観光統計を用いた Excel による複数変数グラフの作成			

18	図表の作成法③	観光歴史年表の作成
19	図表の作成法④	観光地図の作成
20	観光研究のテーマ	観光学やその関連学問における研究テーマ例を紹介する。
21	研究テーマの設定	最終レポート作成に向けた研究テーマを各自設定する
22	研究の遂行方法	最終レポート作成のための具体的なスケジュール, 調査方法, 調査事項の決定
23	研究の実践①	統計や資料によるグラフの作成
24	研究の実践②	適切な調査手法を用いたデータの収集
25	研究の実践③	データや結果の取りまとめ
26	最終レポートの作成①	章・節の構築の方法, 文章の書き方の注意点
27	最終レポートの作成②	最終レポートの執筆
28	調査結果の発表①	レポートの内容を各自発表し, その内容を討論する(前半組)。
29	調査結果の発表②	レポートの内容を各自発表し, その内容を討論する(後半組)。
30	全体のまとめ	1年間のゼミのまとめと卒業研究に向けた討議

準備学修(授業外の自己学修)

- ・事前学習および事後の復習を行い, 不明な点をなくすようにすること。
- ・日頃から新聞, テレビ, インターネットなどで観光や宿泊業に関する情報を収集し, 背景知識の習得に努めること。

成績評価の方法・基準(%表記)

最終レポート 50% 課題の提出状況や調査への取り組み状況 30% 授業態度 20%

観点	S	A	B	C
観光・ホテル業の調査や発表におけるコミュニケーションの実践	完全に実践できている	ほぼ完全に実践できている	十分に実践できている	一定程度実践できている
観光やホテル業に関する課題とその対応策	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
観光やホテル業に関する調査研究の実行	完全に実行できている	ほぼ完全に実行できている	十分に実行できている	一定程度実行できている

教科書 特になし

参考書等 特になし

授業の都度, 必要となる資料を紹介します。また, 必要に応じて講義に必要な情報をまとめたプリントを配布します。

履修上の注意・学修支援

- ・20分以上の遅刻は欠席とみなします。
- ・欠席の場合は, 事前に他の受講生や講師になるべく連絡をすること。
- ・年間を通して卒業研究に必要なスキルを身につけるので, 積極的に調査に取り組むこと。